

2023 年第 2 回 ABAC (バンドル・スリ・ブガワン) 会議【仮訳】

2023 年 4 月 30 日

バンドル・スリ・ブガワン、ブルネイ

**アジア太平洋地域のビジネス界代表は
包摂、レジリエンス、持続可能性の新たな道を切り開く必要性を主張**

APEC ビジネス諮問委員会 (ABAC : APEC Business Advisory Council) の委員は今週、APEC 貿易担当大臣に対し、環境リスク、財政的ストレス、生活費危機を含むこの地域が直面している諸課題を、経済的包摂、レジリエンス、持続可能性の新たな道筋にしっかりと据えていく機会として活用するよう要請した。ABAC の見解は、APEC の貿易担当大臣と交通大臣への個別の書簡と、世界貿易機関 (WTO : World Trade Organization) ならびにアジア太平洋自由貿易圏 (FTAAP : Free Trade Area of the Asia-Pacific) に関するステートメントにまとめられている。

2023 年の ABAC 議長であるドミニク・ング氏は、「民間部門は、域内の政府がパンデミックへの対処から学んだ教訓に基づき、貿易をより強靱性があり、より包摂的で、すべての人々にとって持続可能なものにすることを望んでいる。ABAC は、それらが実施されれば具体的な成果をもたらす明確で具体的な提言を政府に提出することにより、この取り組みを支援している。これらの提言の多くは、今回のブルネイでの会議で最終決定した書簡やステートメントにまとめられている」と述べた。

WTO に関する ABAC のステートメントについて、ドミニク・ング氏は「われわれのビジネス、コミュニティ、そして地球には、将来に備え、効果的で、実施可能な世界貿易体制が与えられるべきである。農業や漁業の補助金、紛争解決システムなどの中核的な改革、デジタル貿易と環境に関する開かれた複数国間交渉など、WTO における野心的な成果を求めるようなシステムである」と述べた。

FTAAP に関する ABAC のステートメントは、環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定 (CPTPP : Comprehensive and Progressive Agreement for Trans-Pacific Partnership) と地域的な包括的経済連携協定 (RCEP : Regional Comprehensive Economic Partnership Agreement) を土台として、短期的には公平性、持続可能性を支援しアジア太平洋地域コミュニティの経済的機会を拡大する具体的な成果を構築し、最終的な FTAAP においては適切に設計された最新の貿易ルールを求めている。

Equity（公平）、持続可能性（Sustainability）、機会（Opportunity）という今年のテーマのもと、ABACの議題には、零細・中小企業（MSMEs：micro, small, and medium-sized enterprises）が世界経済への関与を拡大することにも焦点が当てられている。ABACは、劇的な経済変化に耐える能力を高めようとするMSMEs向けの自己評価ツールとなる、サプライチェーンレジリエンスに関するツールキットを開発している。ABACはまた、環境、社会、ガバナンス（ESG：Environment, Social and Governance）投資に適応しようとしているMSMEsをサポートする仕組みも求めている。

ABACは、デジタル経済の中心にトラスト（信頼性）を組み込み、サイバーセキュリティの課題に対処し、地域の労働力のデジタルスキル向上を促進し、越境デジタル貿易の相互運用性を促進することを目指すデジタル化に関する作業計画を進めている。

ABACはまた、炭素国境調整メカニズム（CBAM：Carbon Border Adjustment Mechanism）が地域に与える影響をよりよく理解するための研究や、環境問題の解決に寄与する商品やサービスへのアクセスを強化するために貿易政策を活用する方法など、貿易と持続可能性が重なる部分の問題に取り組んでいる。CBAMは、環境物品の数ある大規模な補助金プログラムとともに、地域貿易と公平な移転の達成に影響を与える可能性がある。

ABAC 2 会議は、ABAC と ASEAN ビジネス諮問委員会（ASEAN-BAC：ASEAN Business Advisory Council）の両代表者とブルネイのビジネス界および政府代表者が一堂に介した半日のブルネイビジネス会議から始まった。会議の開会挨拶で、ブルネイのアミン・リユー首相府大臣兼第二財務・経済大臣は、協力が今日の世界が直面している複数の危機に対処するための鍵であると述べた。この見解の中で大臣は、APEC 参加国・地域が統合の促進に向けて、楽観的で粘り強く、持続可能で強靱かつ包摂的な成長を続けることの重要性を強調した。

ASEAN-BAC 議長のアルスジャド・ラスジッド氏も会議で、ASEAN-BAC の現在の作業アジェンダを説明し、持続可能性、包摂性、デジタルトランスフォーメーションを達成するという共通の目標に取り組む上で ABAC/ASEAN-BAC 両組織間の相乗効果が見込める分野を概説した。ABAC と ASEAN-BAC が公式に会合するのは今回が初めてであり、ABAC 委員からは、今後の更なる交流への期待が示された。

ABAC 委員はまた、CAE ブルネイ多目的トレーニングセンター、ブルネイ・イノベーションラボ、ロイヤル・ブルネイ・カリナリーなど、ブルネイの経済成長とイノベーションを牽引している企業や組織を訪問する機会があった。

以上

<2023 年第 2 回 ABAC (バンドル・スリ・ブガワン) 会議の様子>



ABAC 委員・代理委員の集合写真



4 月 28 日 (金) オープニング・プレナリー 【写真提供元：ABAC 国際事務局】



オープニング・プレナリーに出席する ABAC 日本委員 (左から、國分委員、中曾委員、鈴木委員)
【写真提供元：ABAC 国際事務局】



最終日 4 月 30 日 (日) プレス・カンファレンスに出席する中曾委員 (右)
【写真提供元：ABAC 国際事務局】